京丹後市長
　中山泰　様

平成 25 年 7 月１１日

清風クラブ　代表　吉岡和信
丹政会　　代表　三崎政直
雄飛会　　代表　吉岡豊和
無会派　　足達昌久
無会派　　松本聖司

米軍 X バンド・レーダー配備受け入れについて

近年、北朝鮮の長距離弾道ミサイル実験や、周辺諸国による我が国固有の領土・領海への侵入行為などにより、我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増している。そのような中、ミサイル防衛の強化を目的に、日米両政府によって米軍 X バンド・レーダー追加配備計画が合意された。その後平成２５年 2 月２６日には防衛事務次官が市役所を訪れ、経ヶ岬分屯基地を最優先候補地として検討・調整したい旨の申し入れがあった。

京丹後市民にとっては突然の出来事でもあり、市民の中に戸惑いや不安の声が広がったことについては理解できるものがある。

議会としては基地対策調査特別委員会を設置し、青森県つがる市への視察等を行うとともに、議員全員協議会を３回開催し、防衛省から説明を受け質疑を行ってきた。また、市としても市民説明会を市内各地域で行うとともに、防衛省へ質問状を送り、その都度回答を得てきたところである。

今般、市から各会派及び無会派議員に対し、X バンド・レーダー配備計画について意向の問い掛けを受ける中で、我々は、市民の中にある不安や戸惑いの声に留意し、十分配慮しながらも、我が国を取り巻く国際情勢や日米両政府の合意の重み、過度な沖縄の基地負担などを考えた場合、市民の安心・安全の確保を前提に、京丹後市へのＸバンド・レーダー配備はやむを得ないものと考えている。

我々は市に対し、下記の事項を付記し、いたずらに時間をかけることなく、Ｘバンド・レーダー配備受け入れに向けて総合判断して頂くことを求める。

記

１、国に対し、市民の安心・安全の確保について、万全の対策を講じるよう求めること。
２、国に対し、日米地位協定の運用の課題等について、日米両政府において引き続き見直しの検討を進めるよう求めること。
３、国に対し、民生安定事業等について、地元の不安の声に十分配慮するとともに、事業の拡大を求めること。

以上